

NY マーケットレポート (2017年8月4日)

NY 市場では、序盤に発表された米雇用統計で、非農業部門雇用者数の伸びが市場予想を上回ったことや、失業率が前月から改善したことを受けて、労働市場の引き締めが続いていることが示されたとの見方が広がり、ドルは大半の主要通貨に対して上昇した。また、賃金の伸びが市場予想を上回ったことも加わり、ドル/円は一時 111 円台乗せとなった。

ただ、終盤にかけては利益確定の動きなどもあり、反落となった。なお、金利先物市場における 12 月の FOMC での利上げ予想確率は、雇用統計発表直前の 45.1%から 49.4%まで上昇した、また、ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、8 営業日連続で取引時間中、終値ベースにも最高値を更新した。

2017年8月4日 (金)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	110.08	110.19	109.85
EUR/JPY	130.81	130.88	130.51
GBP/JPY	144.88	144.93	144.38
AUD/JPY	87.81	87.85	87.36
EUR/USD	1.1882	1.1886	1.1869

LONDON	高値	安値
USD/JPY	110.13	110.01
EUR/JPY	130.88	130.60
GBP/JPY	144.89	144.60
AUD/JPY	87.83	87.66
EUR/USD	1.1888	1.1863

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	110.68	111.05	110.07
EUR/JPY	130.35	131.11	130.10
GBP/JPY	144.37	145.25	144.24
AUD/JPY	87.76	87.96	87.51
NZD/JPY	82.09	82.25	82.00
EUR/USD	1.1778	1.1877	1.1729

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	22092.81	+66.71
S&P500	2476.83	+4.67
NASDAQ	6351.56	+11.22

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1264.60	-9.80
NY 原油	49.58	+0.55

8/7 経済指標スケジュール

08:30	【オーストラリア】7月AiG建設業指数
10:30	【オーストラリア】7月ANZ求人広告件数
14:00	【日本】6月景気一致CI指数
14:00	【日本】6月景気先行CI指数
15:00	【ドイツ】6月鉱工業生産
15:00	【ノルウェー】6月鉱工業生産
15:00	【南アフリカ】7月外貨準備高
16:15	【スイス】7月消費者物価指数
16:30	【スウェーデン】7月財政収支
16:30	【英国】7月ハリファックス住宅価格
16:30	【南アフリカ】2Q失業率
17:30	【欧州】8月センチックス投資家信頼感
23:00	【米国】7月労働市場情勢指数
04:00	【米国】6月消費者信用残高

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.351%	1.339%
3年債	1.503%	1.475%
5年債	1.814%	1.786%
7年債	2.077%	2.041%
10年債	2.262%	2.219%
30年債	2.840%	2.796%

ドイツ10年債	0.468%	0.453%
英国10年債	1.176%	1.149%

8/7主要会議・講演・その他予定

- ・ミネアポリス連銀総裁 講演
- ・セントルイス連銀総裁 講演

NY 市場レポート

21 : 30

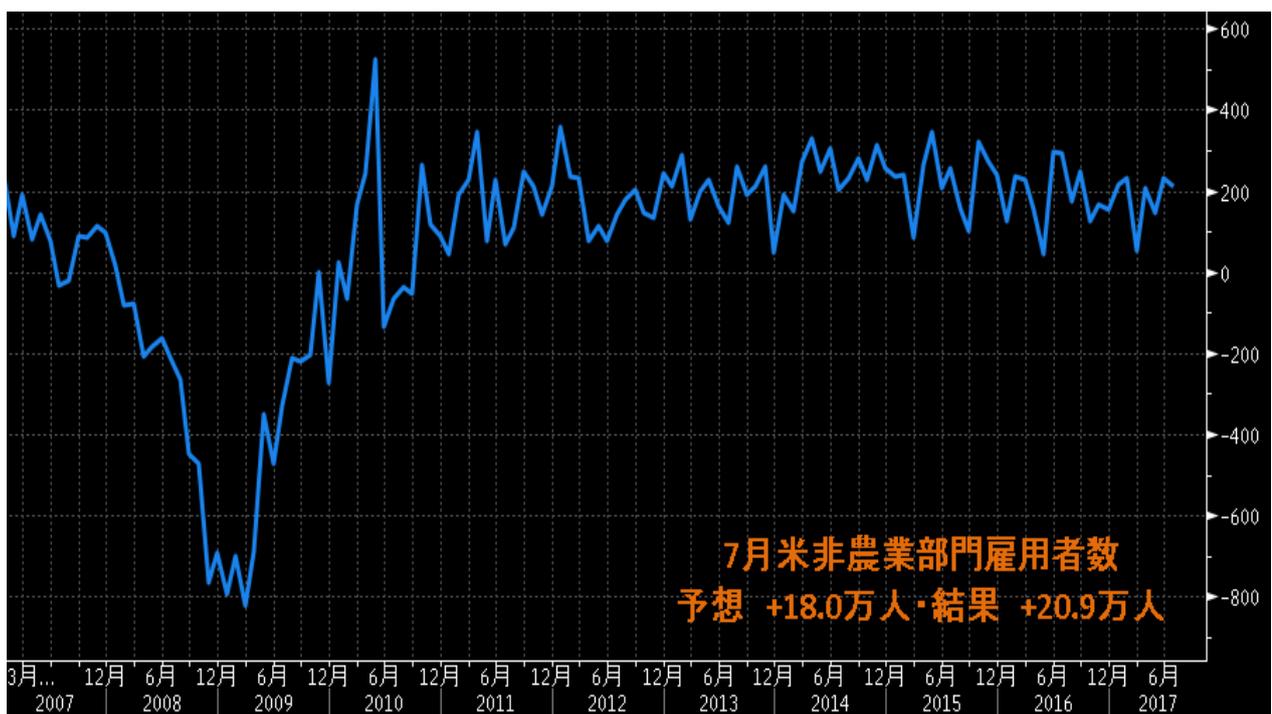
◀ 経済指標の結果 ▶

7月米失業率 4.3% (予想 4.3%・前回 4.4%)

7月米非農業部門雇用者数 +20.9万人 (予想 +18.0万人・前回 +23.1万人)
 前回発表の+22.2万人から+23.1万人に修正



出所：Bloomberg



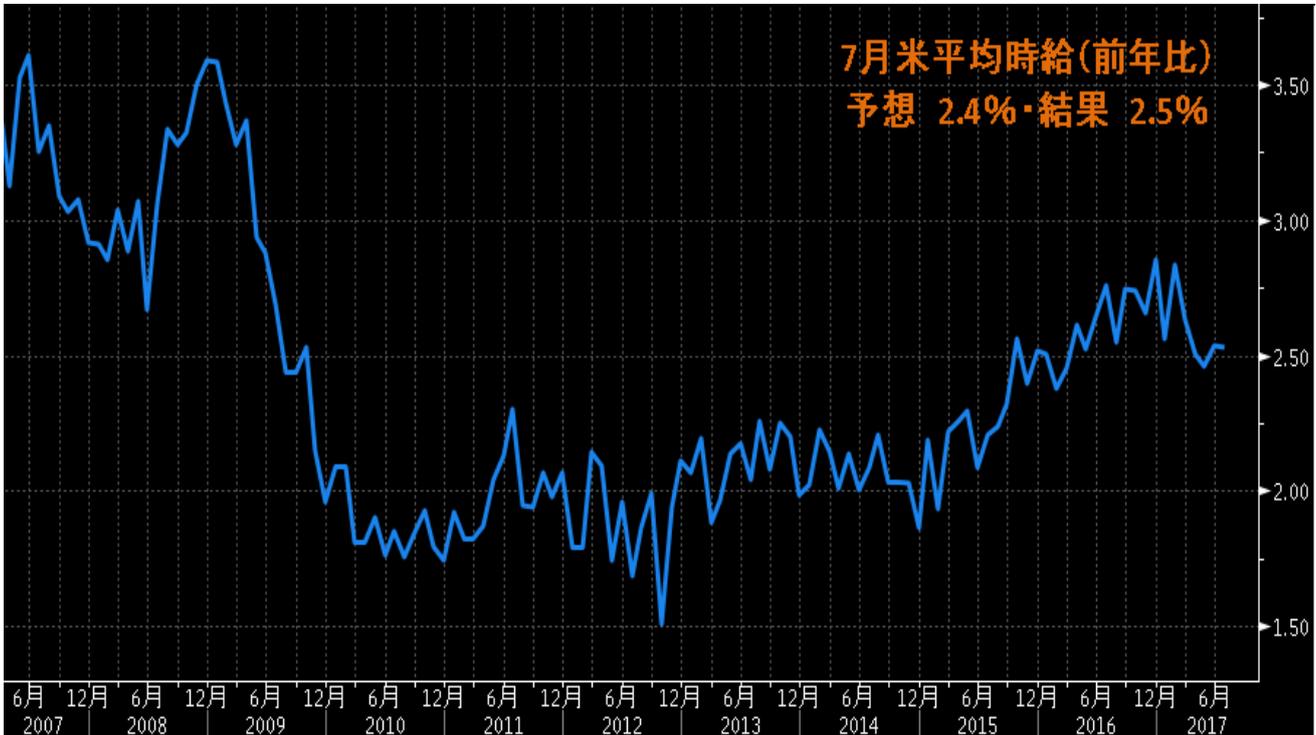
出所：Bloomberg

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

7月米平均時給（前月比） 0.3%（予想 0.3%・前回 0.2%）

7月米平均時給（前年比） 2.5%（予想 2.4%・前回 2.5%）



出所：Bloomberg

◀ 経済指標のポイント ▶

7月の米雇用統計では、非農業部門雇用者数の伸びが+20.9万人と、市場予想の+18.0万人を上回り、労働市場の引き締まりが続いていることが示された。一方、失業率も前月から0.1ポイント低下の4.3%に改善した。

①民間部門雇用者数が+20.5万人、このうち製造業は+1.6万人、建設業は+0.6万人、鉱業・林業は横ばいだった。また、サービス部門は+18.3万人と前月から拡大、サービス業のうち、教育・医療サービスが+5.4万人、小売業は+0.09万人、一時雇用を含む企業・専門サービスは+4.9万人。そして、政府部門は+0.4万人となり、前月から伸びが鈍った。

②労働参加率は62.9%で前月から0.1ポイント上昇、フルタイムで働きたいのにパートの仕事しか見つからない人なども含めた広義の失業率（U6）は8.6%と前月比横ばいだった。

③1時間当たりの賃金は、前月比+0.09ドルの26.36ドル、前年比+2.5%となった。管理職を除いたベースの時給は前月比+0.06ドルの22.10ドルだった。自発的離職率は10.9%と前月から低下した。また、失業期間が半年以上の長期失業者数は、前月から+12.1万人の178.5万人で、失業者全体の25.9%を占めた。

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

6月米貿易収支 -436億USD (予想 -445億USD・前回 -464億USD)

前回発表の-465億USDから-464億USDに修正



出所 : Bloomberg

21 : 30

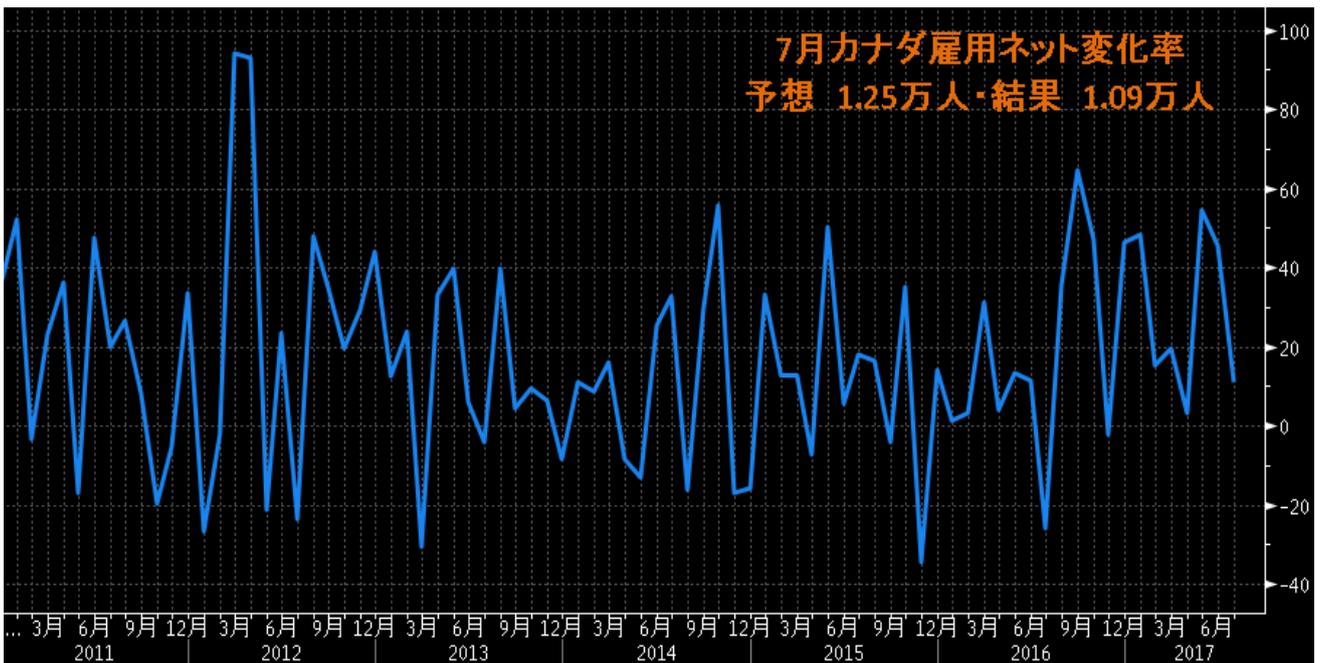
◀ 経済指標の結果 ▶

7月カナダ失業率 6.3% (予想 6.5%・前回 6.5%)

7月カナダ雇用ネット変化率 1.09万人 (予想 1.25万人・前回 4.53万人)



出所 : Bloomberg



出所：Bloomberg

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、7月の米雇用統計で、非農業部門雇用者数の伸びが市場予想を上回る結果となり、米景気の先行き期待が広がったことが好感され、主要株価は堅調な動きとなった。

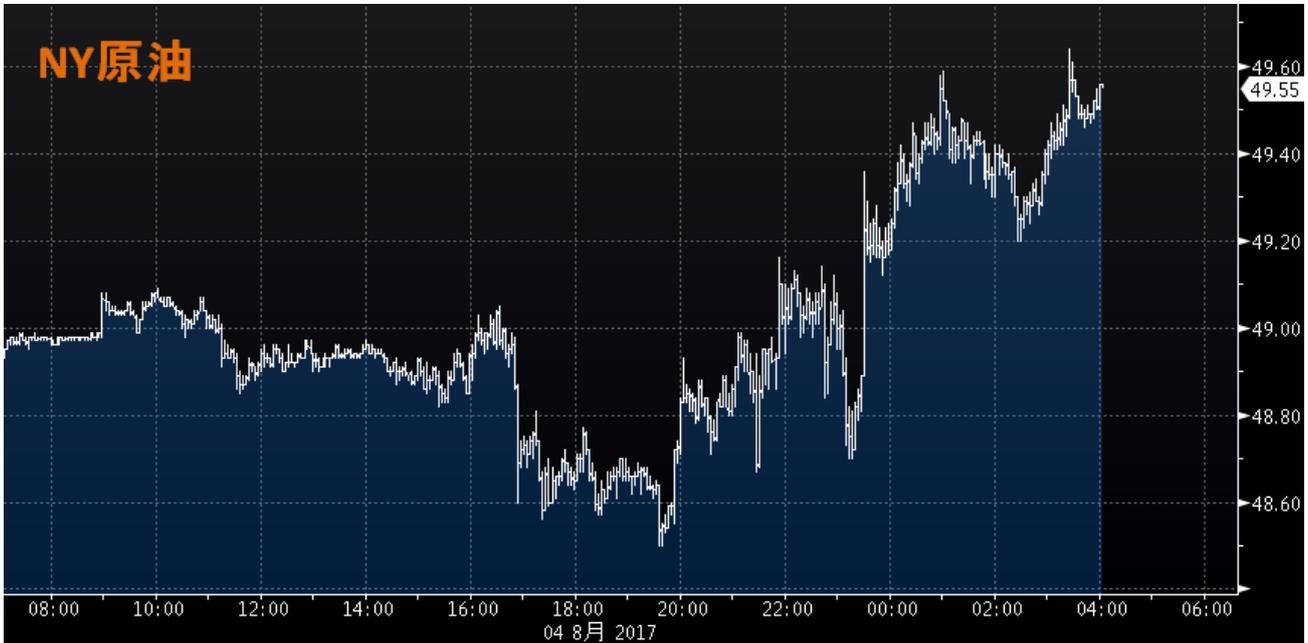


出所：Bloomberg

◀ NY原油市場 ▶

NY原油は、中心限月が前日比0.55ドル高の1バレル=49.58ドルで取引を終了した。

NY原油は、7月の米雇用統計が景気の力強さを示していると受け止められ、原油需要の盛り上がりを見込んだ買いが優勢だった。また、米国内の石油掘削装置の稼働数が減少したことで、需給引き締まりの期待が強まったことも支援材料となった。



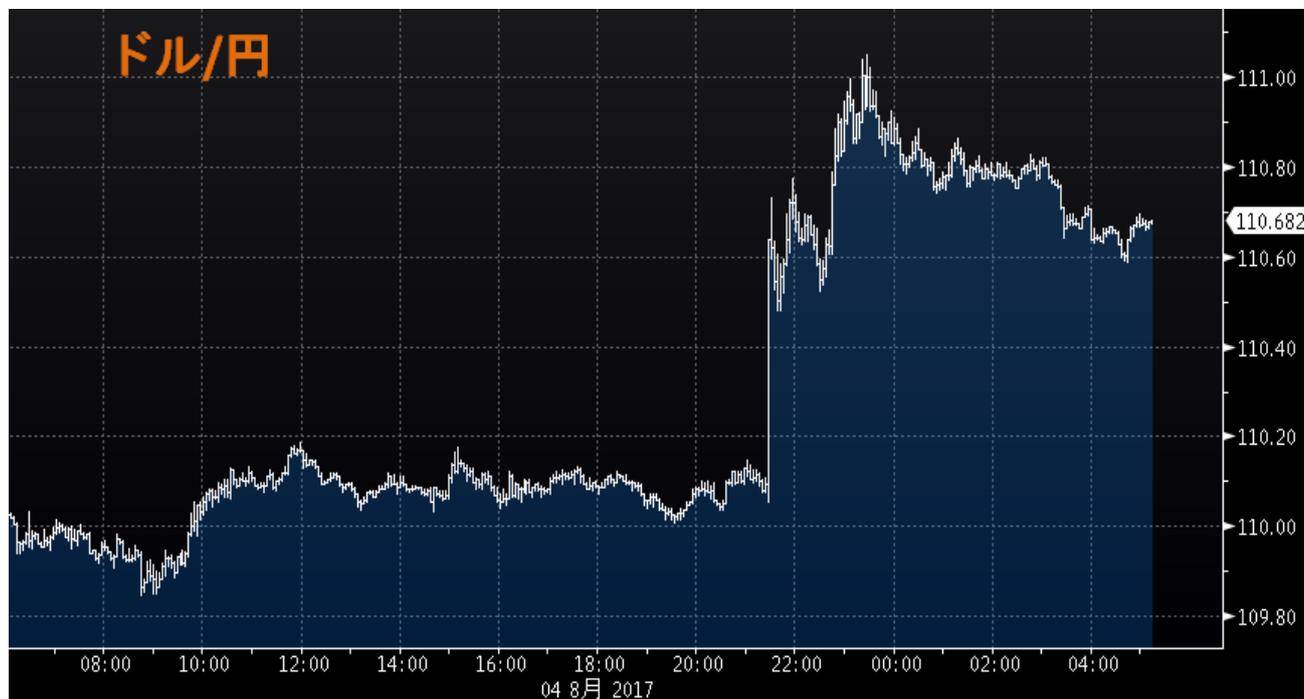
◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、7月の米雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想を上回ったことで、投資家がリスクを取る姿勢を強め、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。ただ、ダウ平均株価が連日の最高値更新をしていることを受けて、利益確定の動きも見られ、ダウ平均とナスダックは、一時マイナス圏まで下落する場面もあった。しかし、終盤にかけて再び堅調な動きとなり、ダウ平均株価は、取引時間中の過去最高値を更新した。



《外国為替市場》

外国為替市場は、米雇用統計で雇用者数や賃金の伸びが予想を上回る結果となったことや、失業率が改善したことを受けて、ドル買いが優勢となった。ただ、ユーロやポンドなどは対ドルで大きく下落したことから、対円でも軟調な動きとなった。その後は利益確定の動きなどもあり、ドルは終盤にかけてやや失速した。



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。